

**JASDAQ**

平成 26 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 日特エンジニアリング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 近藤 進茂
(コード番号 6145)
問い合わせ先
役職・氏名 管理本部長 磯田 博
電 話 048-837-2011

業績予想の修正に関するお知らせ

平成26年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回予想 (A) | 9,000 | 950 | 1,000 | 600 | 33.21 |
| 今回修正 (B) | 9,900 | 1,000 | 1,020 | 670 | 37.08 |
| 増減額 (B-A) | 900 | 50 | 20 | 70 | |
| 増減率 (%) | 10.0 | 5.3 | 2.0 | 11.7 | |
| ご参考(前期第2四半期実績) (平成26年3月期第2四半期) | 8,072 | 591 | 662 | 439 | 24.31 |

2. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回予想 (A) | 8,000 | 850 | 550 | 30.44 |
| 今回修正 (B) | 9,150 | 830 | 550 | 30.44 |
| 増減額 (B-A) | 1,150 | △20 | — | |
| 増減率 (%) | 14.4 | △2.4 | — | |
| ご参考(前期第2四半期実績) (平成26年3月期第2四半期) | 7,226 | 395 | 247 | 13.69 |

3. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回予想 (A) | 19,000 | 2,100 | 2,150 | 1,350 | 74.72 |
| 今回修正 (B) | 20,500 | 2,300 | 2,350 | 1,500 | 83.02 |
| 増減額 (B-A) | 1,500 | 200 | 200 | 150 | |
| 増減率 (%) | 7.9 | 9.5 | 9.3 | 11.1 | |
| ご参考(前期実績) (平成26年3月期) | 14,461 | 716 | 828 | 663 | 36.72 |

4. 平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|-------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回予想 (A) | 17,000 | 1,800 | 1,150 | 63.65 |
| 今回修正 (B) | 19,000 | 2,100 | 1,350 | 74.72 |
| 増減額 (B - A) | 2,000 | 300 | 200 | |
| 増減率 (%) | 11.8 | 16.7 | 17.4 | |
| ご参考 (前期実績) (平成 26 年 3 月期) | 12,618 | 495 | 426 | 23.62 |

5. 修正理由

(1) 第 2 四半期連結業績予想

当社グループが受注する設備は、専用機のため、設備ごとに製造期間が異なり、生産量が一定であっても売上は一定いたしません。第 1 四半期の期間では、売上時期を迎えた設備が少なかったために、四半期売上・利益業績は前年同期比で減少しましたが受注は活発で、生産はフル操業の状態を継続しました。この活発な受注、生産によって第 2 四半期は設備の売上計上が多くあり、前年同期比で収益は大幅な増加となりました。これらを踏まえ業績見通しを上記のとおり修正いたしました。

(2) 第 2 四半期個別業績予想

売上高、利益とも連結の理由と同様となります。

(3) 通期連結業績予想

当社グループは巻線機に加え、ワインディングやテンションといったコアテクノロジーを応用した F A (ファクトリーオートメーション) 設備メーカーへの展開を目指しております。その効果は、取引先層の拡大、生産の高効率化ニーズをメインとした受注増加につながり始めており、下期は、従来の巻線機事業に加えて、F A を取り入れた設備売上げの増加がさらに見込まれることから業績見通しを上記のとおり修正いたしました。

(4) 通期個別業績予想

売上高、利益とも連結の理由と同様となります。

6. その他

(1) 本年 9 月 19 日付「固定資産の譲渡並びに不動産賃貸事業消滅に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当該固定資産の譲渡により繰延税金資産が計上された場合には、当期末の純利益が 9 億 60 百万円増加する可能性があります。現時点では未定のため、平成 27 年 3 月期の業績予想への影響につきましては、本物件の引渡しが完了し、業績の修正が必要と判断された時点で適時に開示いたします。

(2) 配当につきましては、本年 5 月 12 日の予想を据え置きといたします。

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、業績予想数値とは異なる可能性があります。

以 上